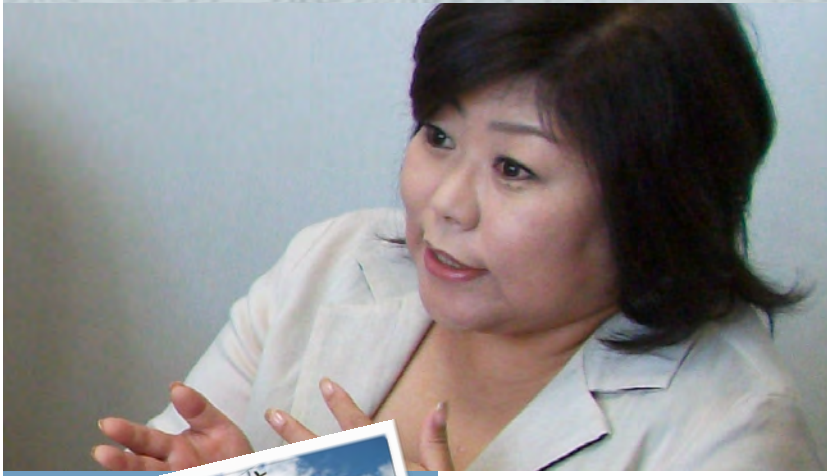


三河商人道

PART
141

有限会社アサヒクリーンメンテ
代表取締役 福澤 玉青 君



青年部は、私の原点



『卒業の特別な感慨や、やり残した事はない。楽しくて一生懸命にやったからね。』と、素敵な笑顔を見せて下さったのは有限会社アサヒクリーンメンテで代表取締役を務められる福澤玉青さん。

自分で選んだ仕事では無い事が嫌で、家業を継ぐ事にふつふつとしていた32歳の時、康生通りの交差点で磯部亮次さんに『あんたえらいつまらなそうな顔して歩いとるね。』と呼びかけられて、連れて行かれたのが青年部だったそうです。

もともと団体で活動することが好きでは無いと言う福澤さん。同期入会のメンバーと委員会活動を真面目にやっているうちにだんだん乗り気になり、ついには平成24年度会長をつとめあげられました。中日新聞に掲載された寒中水泳も強く記憶に残っているそうですが、『平成24年度には大変貴重な体験をさせてもらいました。』と、感謝の気持ちを一番強く語られていました。

様々な事業を成功させてこられた秘訣を聞いてみると、『人間関係が大事、それに楽しい事よりも苦勞を共有した方が深い所につながりが出来るよ。』とアドバイスをいただき、『もっと思い切った事をやってもいいんじゃない?』と激励を受けました。

『卒業は大切。新陳代謝があるから組織が常に新鮮でいられる』そう言われる福澤さんは、韓国語を学ぶ相乗効果で2年くらい前から韓流にはまっているそうで、ドラマの中で時折分かるフレーズがあるのがたまらないと語られる姿からは、卒業は終点ではなく新たな出発点である事を感じさせられ、『やり残した事はない』と言える青年部活動を自分も目指したい、そう思わせる取材となりました。



緑の多いアサヒクリーンメンテ社屋



最近まっているもの



取材スタッフと記念撮影



取材担当/
人財育成委員会
神尾俊陽 栗村勇成
根本宗一郎